

# 町政を問う

## 貸借対照表の作成を！ 公平性・透明の高い入札制度を！



細田 栄

### 可燃ごみの処理計画について 町長 ペレット燃料化は新年度に向け検討

#### バランスシートの作成

**細田** 現在の財務は、単式簿記のため、現金の流れは把握できても、土地・建物の資産価値や町債と

の関連が不明瞭で、豊かになつたのか、貧乏になつたのかわかりにくい。

**町長** 財政健全化法が施行され、四つの健全化判断率の公表をすることになったが、バランスシ

ートについても平成二十三年度施行に乗り遅れなような準備したい。

#### 入札制度改善

**細田** 工事希望型指名競争入札と郵便入札を導入しないか。

**町長** 来年度からの導入は難しいが、より公平性・透明性の高い入札制度になるよう検討したい。

#### 可燃ゴミ対策

**細田** 本町の可燃ゴミは、町内の福島と南部町の共同焼却場の二か所で焼却しているが、収集運搬から最終処分場までの総費用と、収集トン数は。

**地域整備課長** 二か所の焼却場で約一億三千万円のほか、一部不燃物が含

まれるが西部広域のエコスラグセンターと最終処分場の負担金が別途必要である。

**細田** 西部広域の負担金を含めると、総費用は、年間二億円にもなる。収集量二千六百トンで割り戻すとトン当り七万七千円（キログラム当り七十七円）と高額である。この価格は、白菜・大根・キウワリの市場価格とほぼ同額である。

本年七月に紙おむつのペレット燃料化実証実験をされたが、新年度への抱負を聞きたい。

**町長** 町民の皆様の協力により分別収集が進み、ゴミ質は食品残渣、紙おむつなど含水比の高い物へ変化している。紙おむつのペレット燃料化は新年度に向けて検討してい

る。

**細田** 西部圏域の焼却場は、今後どのようになるか。

モデル的に食品残渣の分別処理に取り組む必要があるのではないかと、きめ細かな収集方法と、ゴミ処理経費が削減できた割合に応じて「エコポイント」を町が交付し、LED電球などの省エネ商品と交換できる仕組みを試験的に実施してはどうか。

**町長** 食品残渣については、コンポスト、乾燥機、バイオマスなど色々な処理方法を検討している。計画では五年後に伯耆町清掃センターを廃止し、十年後には南部清掃センターも廃止、全量を米子市で焼却してもらう計画である。



福島清掃センター（溝口）